

## 地方創生に係る国の交付金等対象事業の成果について

## 地方創生加速化交付金対象事業（平成 27 年度交付金：補助率 10/10）

「『上武絹の道』広域連携DMOによる観光連携」（補助額 3,560,000 円）

（実施期間）平成 27 年度からの繰越事業として平成 28 年度実施

（内 容）広域連携DMOによる事業展開として、「上武絹の道」に関するチラシ、ポスター、カレンダーを作成し、プロモーション展開の実施、物産展等外部イベントへの出展及び広報活動の実施、上武絹の道マイスター講座（人材育成講座）の実施、旅行企画開発に係るモニタリングツアーの実施、観光モデルコースの開発等を行った。

（取組事業）①上武絹の道運営協議会負担金（補助額：決算額 3,560,000 円）

（評価指標）※平成 28 年 2 月交付申請、3 月交付決定

| 評価項目         | 事業前<br>(H28.3) | 目標<br>(H29.3) | 事業後<br>(H29.3) |
|--------------|----------------|---------------|----------------|
| 片倉シルク記念館入場者数 | 1,027 人        | 1,200 人       | 597 人          |

## 地方創生推進交付金対象事業（平成 29 年度交付金：補助率 1/2）

「『上武絹の道』広域連携DMOによる観光連携」（補助額 1,500,000 円）

（実施期間）平成 29 年度

（内 容）広域連携DMOによる事業展開として、「上武絹の道」に関するチラシ、ポスター、カレンダー、外国人向けPR動画を作成し、プロモーション展開の実施、物産展等外部イベントへの出展及び広報活動の実施、上武絹の道マイスター講座（人材育成講座）の実施、旅行企画開発に係るモニタリングツアーの実施、観光モデルコースの開発等を行った。

（取組事業）①上武絹の道運営協議会負担金（補助額 1,500,000 円、決算額 3,000,000 円）

（評価指標）※平成 29 年 5 月交付申請、5 月交付決定

| 評価項目    | 事業前 (H27)   | 目標 (H31)    | 事業後 (H29)   |
|---------|-------------|-------------|-------------|
| 観光客入込客数 | 3,656,299 人 | 4,000,000 人 | 4,308,940 人 |

「まち元気『ひと・しごと・にぎわい』創生事業」（補助額 5,997,385 円）

（実施期間）平成 29 年度

（内 容）中心市街地への集客・出店の促進を、株式会社まちづくり熊谷が、中心市街地のまちづくりのけん引役として、大型商業施設事業者による推進組織や個人事業者との連絡調整を行い、誘客イベントの企画実施、まちなか情報発信により、中心市街地の一層の活性化を図るとともに、創業者の出店を積極的にサポートする事業。

(取組事業) ①「中心市街地活性化まちづくり会社業務支援事業熊谷への補助金」

(補助額：3,126,848円)

②まちなかモール委員会活動支援事業(補助額：2,184,535円)

③創業支援事業(補助額：250,000円)

④女性の起業支援事業(補助額：356,656円)

⑤女性版リターンワーク事業(補助額：79,346円)

(評価指標) ※平成29年5月交付申請、5月交付決定

| 評価項目             | 事業前(H27)   | 目標(H29)    | 事業後(H29)   |
|------------------|------------|------------|------------|
| 域内観光入込客数         | 3,500,000人 | 3,700,000人 | 4,308,940人 |
| 空き店舗率            | 18.0%      | 16.7%      | 18.0%      |
| 中心市街地の歩行者・自転車通行量 | 17,809人    | 17,300人    | 12,024人    |

地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)(平成28~31年度：4年間認定)

「ラグビーによるまちづくり事業」

(実施期間) 平成29年度

(内容) ラグビータウンとして伝統のある本市が、熊谷スポーツ文化公園の熊谷ラグビー場で開催されるラグビーワールドカップ2019を契機に、交流人口の拡大による商業振興及び中心市街地活性化とともに、市民の郷土愛の醸成を図る。

(取組事業) 2年目) ラグビータウンの構築とワールドクラス大会の開催準備

①熊谷ラグビー応援団のサイト運営(継続)(決算額 4,320,000円)

②スポーツツーリズムの誘致にかかる先進地視察

③観客輸送計画の策定

熊谷駅を起点としたラグビー場等への公共交通を見直し、観戦者の輸送力拡大のため連節バスの導入計画等を含め、ラグビー場までのアクセスの利便性を向上させ、観客数の増加を図り、ラグビーファンの獲得と中心市街地への誘導を図る計画を策定する。(決算額 6,933,600円)

④ラグビーワールドカップ開催に係るファンゾーン計画の策定

ラグビータウンとしての市民意識向上と誇りから、商業をアピールする効果的なエリアを設定し、国内外から訪れる観光客に熊谷の地域資源をアピールするほか、中心市街地等の商業店舗の連携により、特産品の販売、特産品を活用した新商品の開発・販売、その後の商品販売やおもてなし、稼ぐ力につなげていく計画を策定する。(決算額 945,216円)

(寄附受領額) 3件：300,000円

(評価指標) ※平成28年6月申請、8月認定

| 評価項目              | 事業前(H27) | 目標(H29) | 事業後(H29) |
|-------------------|----------|---------|----------|
| 熊谷ラグビー場の1試合平均観戦者数 | 1,374人   | 1,600人  | 3,113人   |
| くまびあ年間合宿者数        | 2,419人   | 3,000人  | 4,757人   |
| スポーツツーリズム年間消費額    | 3,000万円  | 3,700万円 | 6,200万円  |